

この度は弊社製品をご購入頂き誠に有難うございます。

はじめに、必ず本紙と取扱説明書または仕様書等をお読みご理解した上でご利用ください。本冊子はいつでも見られる場所に大切に保管してください。

【ご利用にあたって】

1. 本製品のデザイン・機能・仕様は性能や安全性の向上を目的に予告なく変更することがあります。また、価格を変更をする場合や資料及び取扱説明書の図が実物とは異なる場合もあります。
2. 本製品は著作権及び工業所有権によって保護されており、全ての権利は弊社に帰属します。

【限定保証】

1. 弊社は本製品が頒布されているご利用条件に従って製造されたもので、取扱説明書に記載された動作を保証致します。
2. 本製品の保証期間は購入戴いた日から1年間です。

【保証規定】

保証期間内でも次のような場合は保証対象外となり有料修理となります

1. 火災・地震・第三者による行為その他の事故により本製品に不具合が生じた場合
2. お客様の故意・過失・誤用・異常な条件でのご利用で本製品に不具合が生じた場合
3. 本製品及び付属品のご利用方法に起因した損害が発生した場合
4. お客様によって本製品及び付属品へ改造・修理がなされた場合

【免責事項】

弊社は特定の目的・用途に関する保証や特許権侵害に対する保証等、本保証条件以外のものは明示・黙示に拘わらず一切の保証は致し兼ねます。また、直接的・間接的損害金もしくは欠陥製品や製品の使用方法に起因する損失金・費用には一切責任を負いません。損害の発生についてあらかじめ知らされていた場合でも保証は致しかねます。ただし、明示的に保証責任または担保責任を負う場合でも、その理由のいかんを問わず、累積的な損害賠償責任は、弊社が受領した対価を上限とします。

本製品は「現状」で販売されているものであり、使用に際してはお客様がその結果に一切の責任を負うものとします。弊社は使用または使用不能から生ずる損害に関して一切責任を負いません。

保証は最初の購入者であるお客様ご本人にのみ適用され、お客様が転売された第三者には適用されません。よって転売による第三者またはその為になすお客様からのいかなる請求についても責任を負いません。

本製品を使った二次製品の保証は致しかねます。

製品をご使用になった時点^{※1}で上記内容をご理解頂けたものとさせていただきます

ご理解頂けない場合、未使用のまま商品到着後、1週間以内に返品下さい。代金をご返金致します。尚、返品の際の送料はお客様ご負担となります。ご了承下さい。

※1 製品が入っている北斗電子ロゴ入り袋を開封した時点でご使用したとみなします

HSB8C23F-E4 取扱説明書 (USB I/F)

マルチネットワークボードシリーズ ルネサス エレクトロニクス R5F21238JFP マイコン搭載ボード



概要

本ボードはネットワークを使い分散システムの評価を行う事を目的としています。ボードは現在4種類用意されており、必要により組み合わせてお使い下さい。

製品内容

マイコンボード.....1枚	DC電源ケーブル.....1本
DCプラグ.....1個	(2Pコネクタ片側着済 30cm: JAE)
26PINボックス型コネクタ....1個	LIN I/F用ケーブル.....1本
(ストレートオス)	(3Pコネクタ片側着済 1.5m: JAE)
34PINボックス型コネクタ....1個	CAN I/F用ケーブル.....1本
(ストレートオス)	(4Pコネクタ片側着済 50cm: JAE)
回路図.....1部	IIC I/F用ケーブル.....1本
	(5Pコネクタ4芯片側着済 50cm: JAE)

安全上のご注意

製品を安全にお使いいただくための項目を次のように記載しています。絵表示の意味をよく理解した上でお読みください。

表記の意味



取扱を誤った場合、人が軽傷を負う可能性又は、物的損害のみを引き起こす可能性がある事が想定される。



電源の極性及び過電圧には十分にご注意下さい。

- ・ボードに電源を供給する場合は、複数箇所からの電源供給を行わないで下さい。製品の破損、故障の原因となります。
- ・極性を誤ったり、規定以上の電圧がかかると、製品の破損、故障、発煙、火災の原因となります。

マイコンボード

マイコンボード型名	実装マイコンマーク型名	内蔵ROM		内蔵RAM	実装クロック	ボード電源電圧	基板外形寸法
		プログラム領域	データ領域				
HSB8C23F-E4	R5F21238JFP	64KB	2KB	3KB	20MHz	DC5.0V	115×79mm (突起部含まず)

【実装コネクタと適合コネクタ】

コネクタ	実装コネクタ型名	メーカー	極数	適合コネクタ	メーカー	
J1	DC電源入力	IL-G-2P-S3T2-SA	JAE	2	IL-G-2S-S3C2-SA	JAE
J2	LIN用電源	MJ-179P	マル信	ジャック	DCプラグ	-
J3	FLASH I/F	H310-020P	Conser	20	FL20A2FO 準拠	沖電線または準拠品
J4	デバッグ I/F	H310-014P	Conser	14	FL14A2FO 準拠	沖電線または準拠品
J5	CAN I/F	IL-G-4P-S3T2-SA	JAE	4	IL-G-4S-S3C2-SA	JAE
J6	IIC I/F	IL-G-5P-S3T2-SA	JAE	5	IL-G-5S-S3C2-SA	JAE
J7	LIN I/F	IL-G-3P-S3T2-SA	JAE	3	IL-G-3S-S3C2-SA	JAE
J23	USB I/F	54819-0572	molex	5	USBシリーズ MINI-Bコネクタ	-

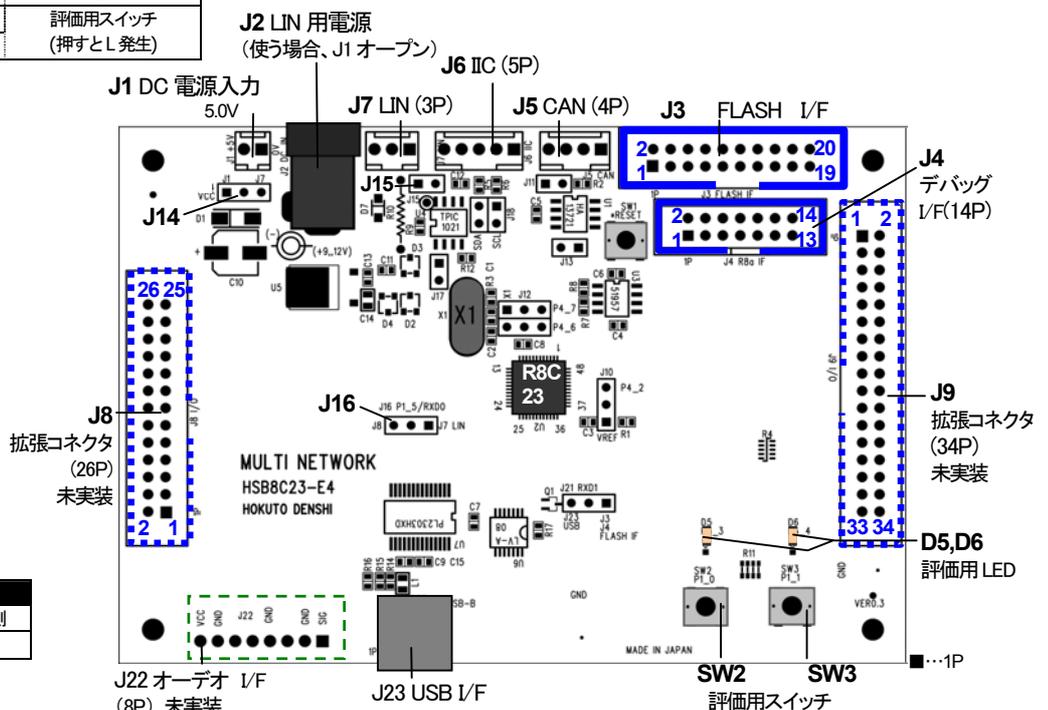
J3・J4 は Conser 製もしくは互換品(MIL規格準拠 2.54ピッチボックスプラグ 切欠 中央1箇所)を使用。

※未実装の部品に関してはサポート対象外です。お客様の責任においてお使いください。

【スイッチ】

スイッチ	信号名	備考
SW1	7 *RESET	リセット
SW2	30 P1_0/*K10/AN8	評価用スイッチ
SW3	29 P1_1/*K11/AN9	(押すとL発生)

【ボード配置図】



【ジャンパ】

ジャンパ	ジャンパ
J10	1-2ショート★ VREF ボード電源 2-3ショート VREF J9_5
J11	1-2ショート CAN 終端抵抗
J12-A	1-2ショート★ X1 クリスタル 2-3ショート P4_7 J9_10
J12-B	4-5ショート★ X1 クリスタル 5-6ショート P4_6 J9_9
J13	1-2ショート★ CAN RXD
J14	1-2ショート J1より電源供給 2-3ショート★ LINより電源供給
J15	1-2ショート LIN マスタ切り替え抵抗
J16	1-2ショート P1_5 LIN RXD 2-3ショート★ P1_5 J8_8
J17	1-2ショート LIN イネーブル P1_6
J18	1-2ショート IIC プルアップ抵抗 3-4ショート IIC プルアップ抵抗
J21	1-2ショート RXD1 J3 FLASH I/F 側 2-3ショート★ RXD1 J23 USB 側

※製品出荷時は★印の設定でジャンパプラグを設定しております。

【評価用 LED】 2個

LED 信号名	LED 信号名
D5 35 P6_3	D6 34 P6_4

積層セラミックコンデンサ 0.1μF(1608パッケージ) C1608JB1H104K(TDK)
積層セラミックコンデンサ 47μF C3225X5R0J476M(TDK)
L1チップビーズ(SMD) MPZ2012S101AT(TDK)
上記に値する部品もしくは、同等品を使用しています

【コネクタ信号表】 (信号名にはマイコン端子番号が付記されています *は負論理 NC は未接続)

J3 FLASH インタフェース(20P)

プログラマ No. 信号名	本ボード接続 信号名	プログラマ No. 信号名
1	*RES	7 *RESET
2		2 GND
3	FWE	- NC
4		4 GND
5	MD0	- NC
6		6 GND
7	MD1	- NC
8		8 GND
9	I/O0	- NC
10		10 GND
11	I/O1	- NC
12		12 GND
13	I/O2	4 MODE
14		14 GND
15	TXD	26 P6_6/*INT2/TXD1
16		16 GND
17	RXD	27 P6_7/*INT3/RXD1
18		18 VIN1
19	NC	- NC
20		20 VIN

J4 デバッグインタフェース(14P)

No. 信号名	No. 信号名
1 - NC	2 GND
3 - NC	4 GND
5 26 P6_6/*INT2/TXD1	6 GND
7 4 MODE	8 VCC
9 - NC	10 GND
11 27 P6_7/*INT3/RXD1	12 GND
13 7 *RESET	14 GND

※ J4 デバッグ I/F のコネクタピン番号とルネサス エレクトロニクスのコネクタとピン番号の数え方が一部異なる場合がございますのでご注意ください。



注意
アナログ信号の振幅が VCC と GND を超えないようご注意ください。
規定以上の振幅の信号が入力された場合、永久破損の原因となります。

J5 CAN I/F (4P)

No. 信号名
1 GND
2 CANL
3 CANH
4 VCC

J6 IIC I/F (5P)

No. 信号名
1 GND
2 SCL
3 SDA
4 NC
5 VCC

J7 LIN I/F (3P)

No. 信号名
1 GND
2 信号線
3 電力線

J8 I/O(26P)未実装

No. 信号名	No. 信号名
1 - GND	2 - GND
3 30 P1_0/*K0/AN8	4 29 P1_1/*K1/AN9
5 28 P1_2/*K2/AN10	6 24 P1_3/*K3/AN11
7 23 P1_4/TXD0	8 22 P1_5/RXD0/(TRAI0)/(/*INT1)*2
9 21 P1_6/CLK0	10 20 P1_7/TRAI0/*INT1
11 19 P2_0/TRDIOA0/TRDCLK	12 18 P2_1/TRDIOB0
13 17 P2_2/TRDIOA0	14 16 P2_3/TRDIOB0
15 15 P2_4/TRDIOA1	16 14 P2_5/TRDIOB1
17 13 P2_6/TRDIOA1	18 12 P2_7/TRDIOB1
19 - NC	20 - NC
21 - NC	22 - NC
23 - VCC	24 - VCC
25 - GND	26 - GND

備考 ★1 P4.7 は入力専用ポートです
★2 プログラムで()の端子に配置できます

J9 I/O(34P)未実装

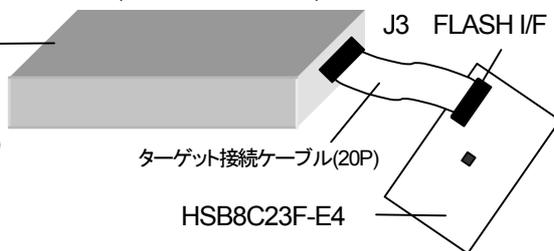
No. 信号名	No. 信号名
1 - GND	2 - GND
3 7 *RESET	4 - NC
5 - J10 (P4_2/VREF)	6 5 P4_3
7 6 P4_4	8 25 P4_5/*INT0
9 10 P4_6/XIN	10 8 P4_7*/XOUT
11 32 P3_0/TRAO	12 31 P3_1/TRBO
13 2 P3_3/SSI	14 3 P3_4/SDA/*SCS
15 1 P3_5/SCL/SSCK	16 48 P3_7/SSO
17 47 P0_0/AN7	18 46 P0_1/AN6
19 45 P0_2/AN5	20 44 P0_3/AN4
21 39 P0_4/AN3	22 38 P0_5/AN2
23 37 P0_6/AN1	24 36 P0_7/ANO
25 41 P6_0/TRE0	26 43 P6_1/CTX0
27 42 P6_2/CRX0	28 35 P6_3
29 34 P6_4	30 33 P6_5
31 - VCC	32 - VCC
33 - GND	34 - GND

各インタフェースを使うために

1.FLASH の書き込み

書き込み装置として FM-ONE, FLAHSMATE5V1, FLASH2 を使う場合

- ・FM-ONE
 - ・FLAHSMATE5V1
 - ・FLASH2
- (3 種とも北斗電子製)



対応プログラマ:

FLASH2, FLASHMATE5V1, FM-ONE

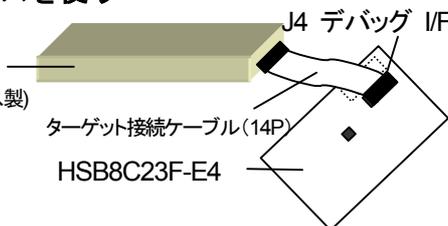
書き込み終了時、書き込まれたプログラムがリセットスタート致しますので、マイコンボード側スイッチは動作モードの設定をお勧めします。

(動作モード表参照)

書き込み方法については、書き込み装置の取扱説明書をご参照下さい

2.デバッグインタフェースを使う

- ・FM-ONE シングルワイヤー (北斗電子製)
- ・E8/E8a (ルネサス エレクトロニクス製)



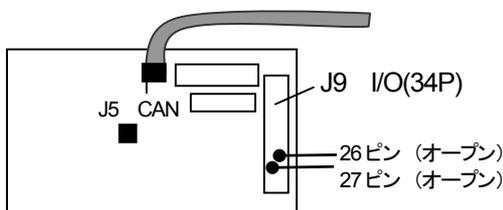
操作は、デバッグ付属の取扱説明書をご参照下さい

3.CAN

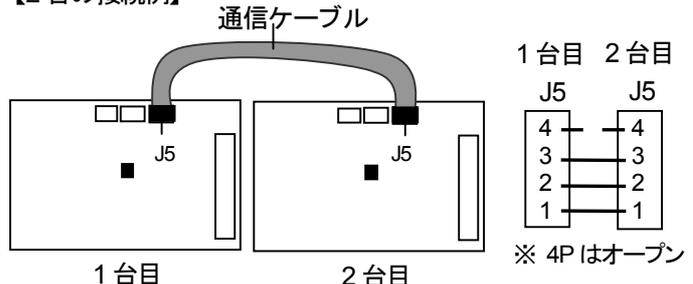
J13 ショートして下さい

マイコンが CAN に使う信号 (P6_1, P6_2) は CAN(U1) の他に外部拡張コネクタ (J9_26, J9_27) にも繋がっています。

衝突をさける為 J9_26, J9_27 はオープンにして下さい

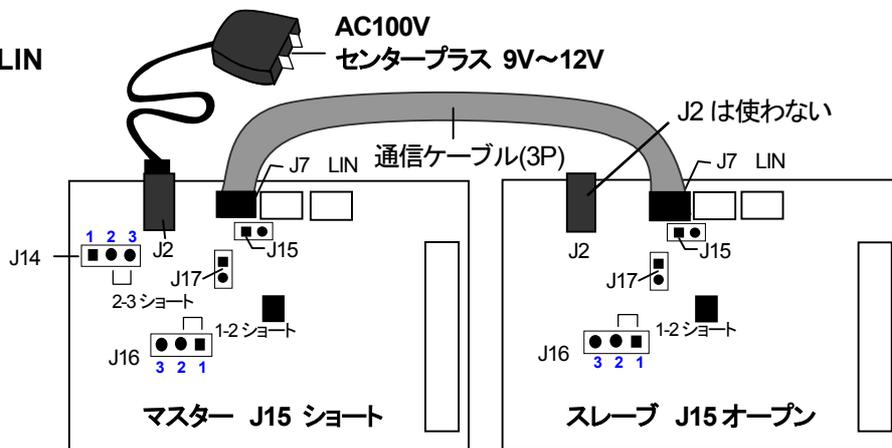


【2台の接続例】

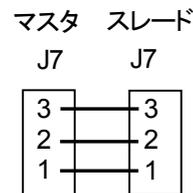


ボード上の J11 はショートする事で、ターミネータ R2 (120Ω) を有効にして下さい。3 台以上を接続する場合は、一番離れた 2 台をショートして下さい

4.LIN



※ ACアダプタは市販の物をご用意頂くか、付属の DC プラグを加工してご使用下さい

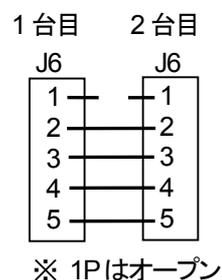
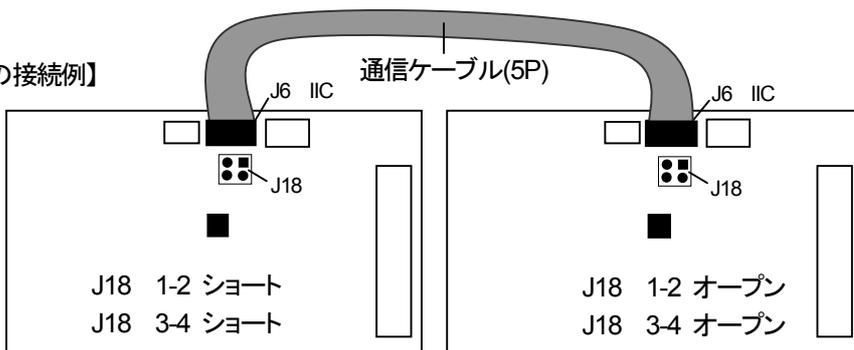


基板上のショート端子 J17 はオープン

信号 P1_6, P6_5 を使わない場合は、問題ありませんが、使う場合、U4 に使う他に J8_9, J9_30 にも接続していますので、J8_9, J9_30 をオープンにして下さい

5.IIC

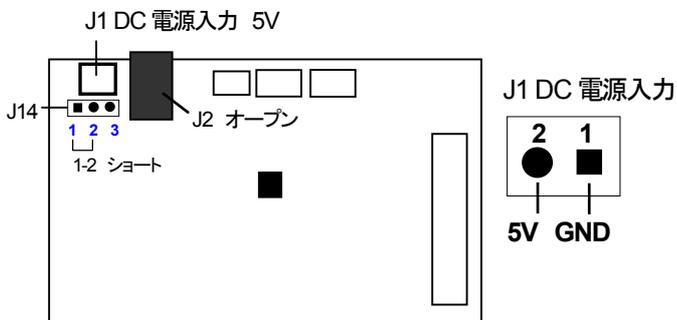
【2 台の接続例】



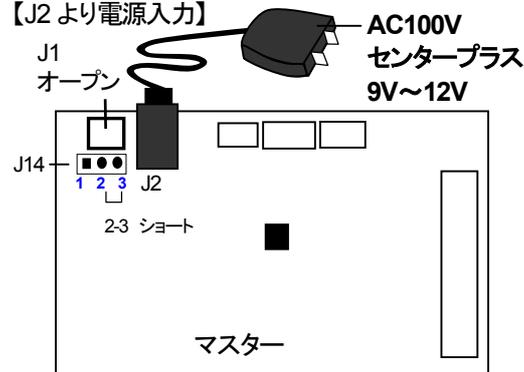
6.DC 電源入力

J1 より 5V を入力、又は J2 より 9V~12V を入力する事が出来ます。(両方同時には使えません)

【J1 より電源入力】



【J2 より電源入力】



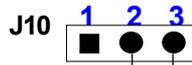
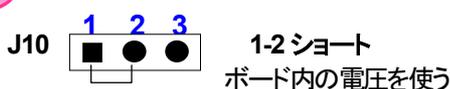
※LIN 接続する場合、ボード台数で電源電流容量が変わります

7.AD 変換用 VREF

AD 変換用基準電圧はボード内、又はコネクタ J9_5 から入力する事が出来ます

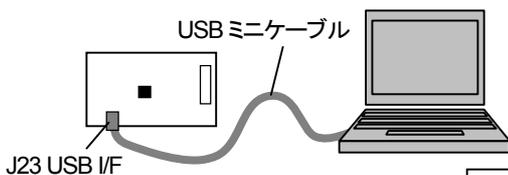
ボード内の供給は、マイコンの電源電圧を使います。電圧精度の高いものは、ボード外より J9_5 より入力します

おすすめ



2-3 ショート J9_5 より入力します
※電源の入、切はマイコンと同時に必要です。

8. USB インタフェース



準備

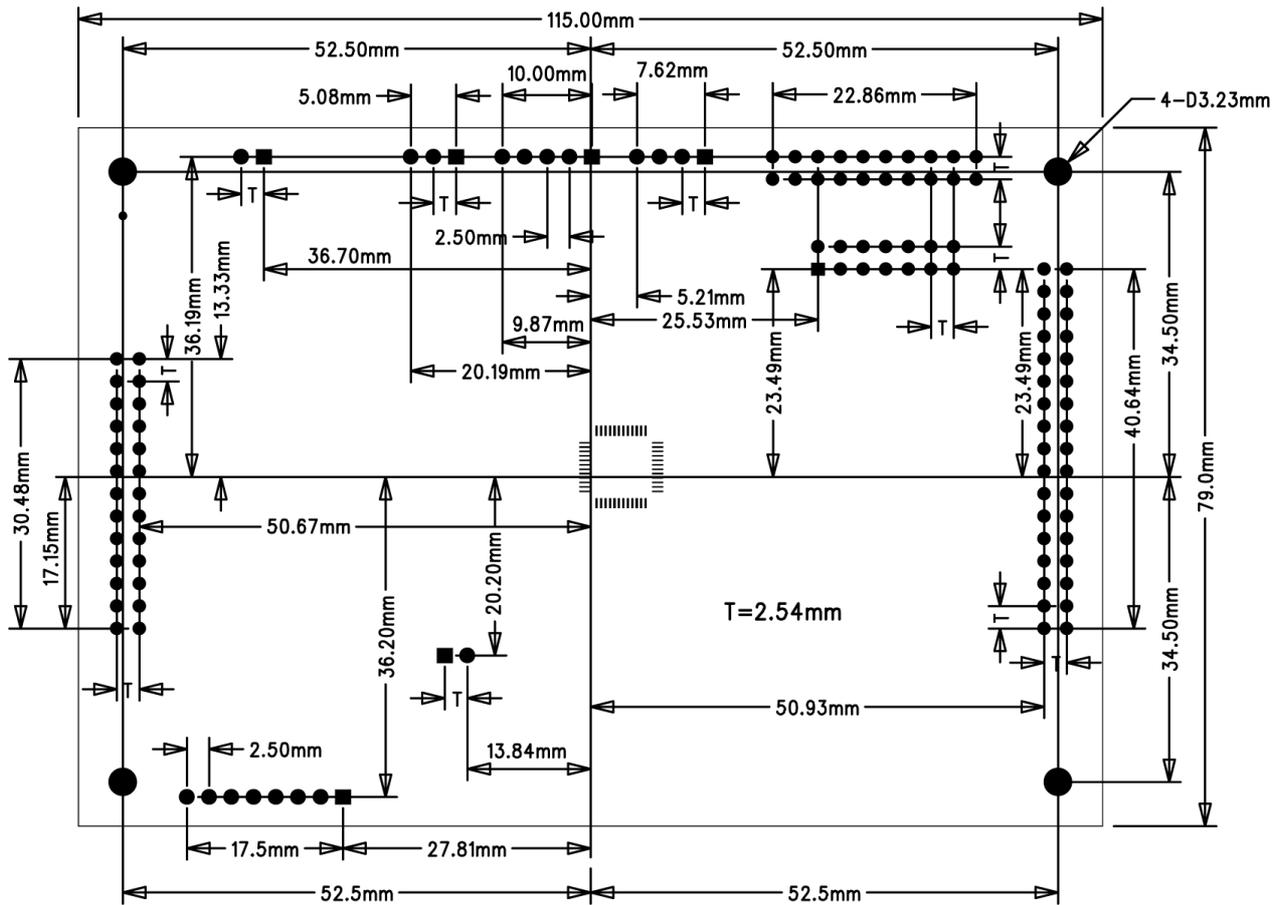
1. ボードと PC を USB ミニケーブルで接続してください
2. ソフトのインストール
パソコンにて、xxx.EXE を流れに添って実行してください
※USB ミニケーブルは別途ご用意下さい

【USB シリアル変換】

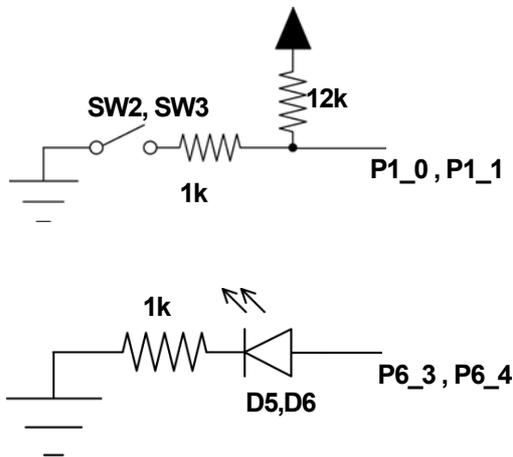
型名	メーカー
PL-2303HXD	Prolific

【USB シリアル変換ドライバのインストール】

本ボードと PC を接続してシリアル通信を行うには、Prolific 社の USB-シリアル変換ドライバを PC にインストールする必要があります。
ドライバは Prolific 社のホームページより、ダウンロードし、そちらを実行してインストールを行って下さい。インストール作業はインストーラの画面の指示に従って行って下さい。
正常にインストールされた場合、本ボードと接続してシリアル通信を行うことが出来ます。



評価用 SW・LED 回路図



マルチネットワークボードシリーズのご紹介

マルチネットワークボードシリーズは、現在下記の4種類がございます。必要により組み合わせさせていただきます。

製品名	主な特徴
HSB8C23F-E1	モーター制御
HSB8C23F-E2	キー入力とLCD表示
HSB8C23F-E3	センサー(光, 熱, 音, 人間感知)
HSB8C23F-E4	USBでPCインタフェース

シリーズ共通内容

コネクタ	極数
J3 FLASH I/F	20
J4 デバッグ I/F	14
J5 CAN I/F	4
J6 IIC I/F	5
J7 LIN I/F	3
J8 マイコン信号, 拡張コネクタ	26
J9 マイコン信号, 拡張コネクタ	34
J22 PWM出力を使ったAF出力	8
スイッチ ※	
評価用スイッチ (2個)	

※評価用スイッチ搭載ボードは、HSB8C23F-E1,E3,E4の3種類となります

【注意事項】

※ 弊社のマイコンボードの仕様は全て使用しているマイコンの仕様に基づいております。マイコンの仕様に関しましては製造元にお問い合わせ下さい。弊社の製品は、予告無しに仕様および価格を変更する場合がありますので、御了承下さい。

※ 本ボードのご使用にあたっては、十分に評価の上ご使用下さい。

パーソナルコンピュータをPCと称しています

発行 株式会社 **北斗電子** HSB8C23-E4 取扱説明書 (USB I/F) ©2007-2014 北斗電子 Printed in Japan 2007年12月27日初版 REV.2.1.0.0 (141030)

e-mail: support@hokutodenshi.co.jp(サポート用), order@hokutodenshi.co.jp(ご注文用) URL: http://www.hokutodenshi.co.jp

TEL 011-640-8800 FAX 011-640-8801 〒060-0042 札幌市中央区大通西16丁目3番地7